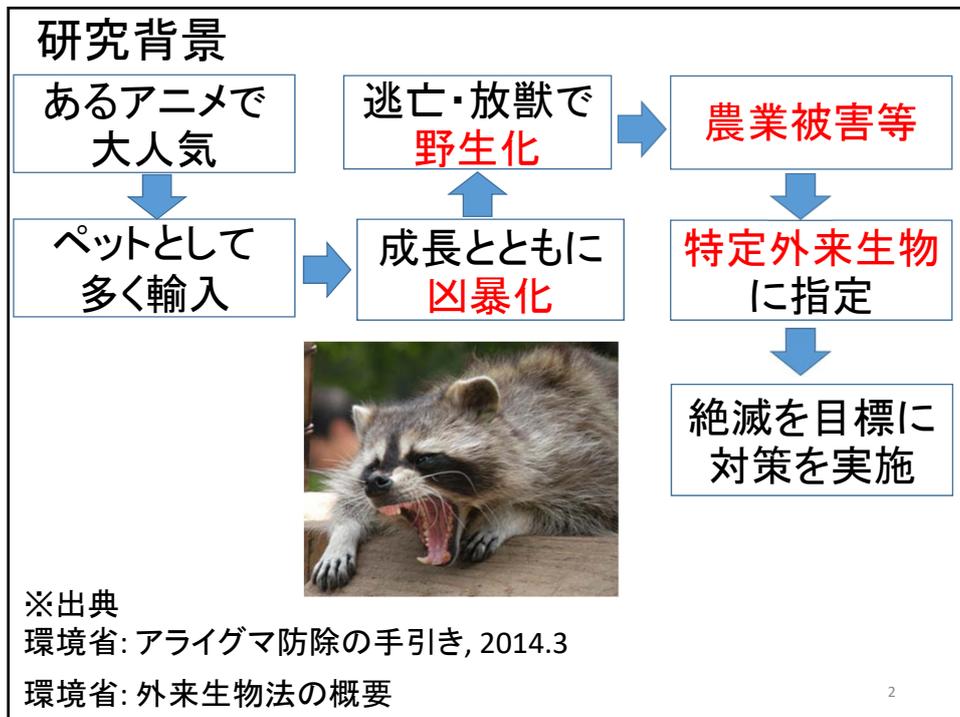


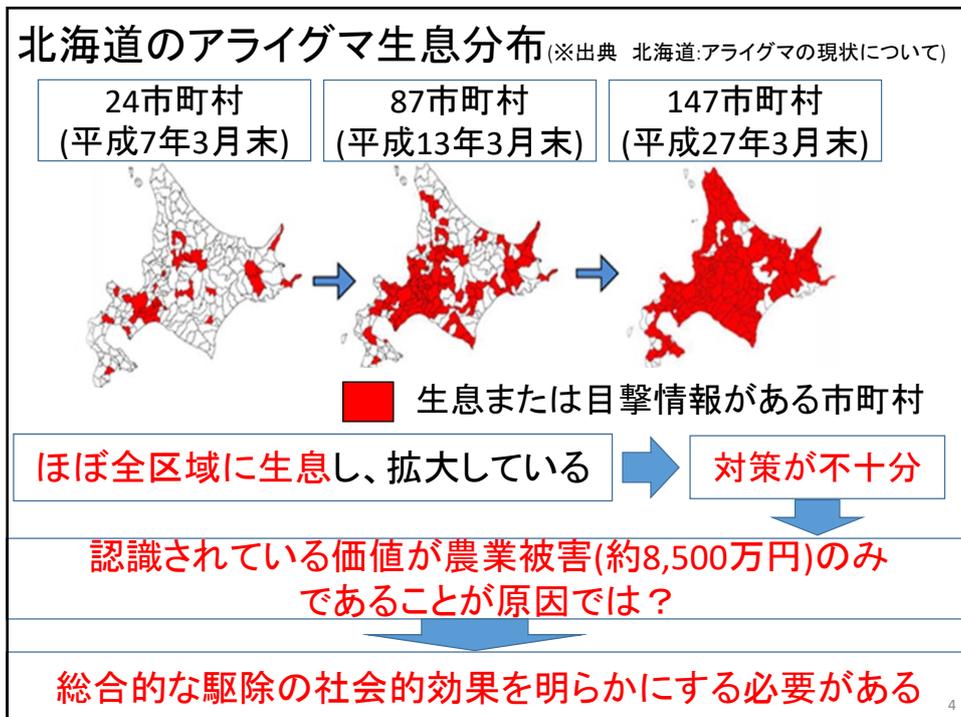
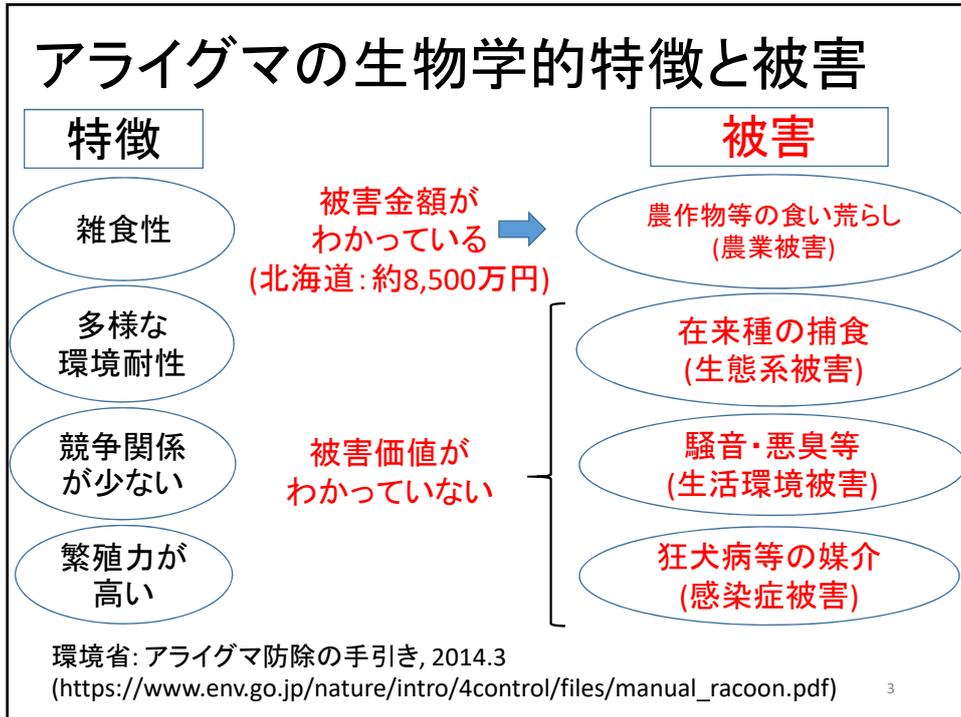
CVMを活用した アライグマによる 社会的損失価値の推計

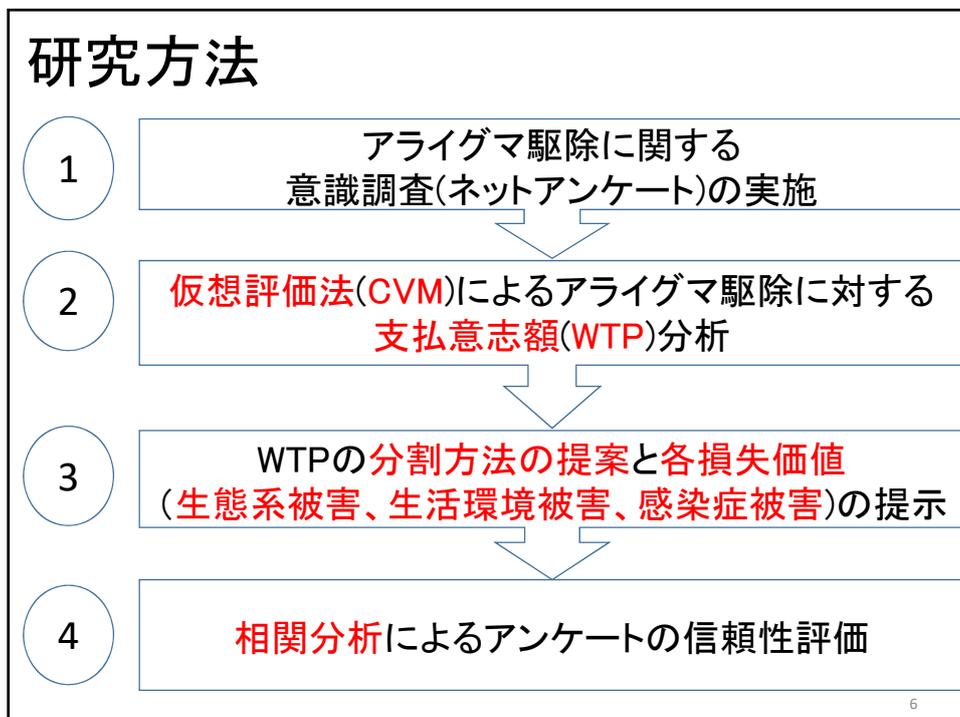
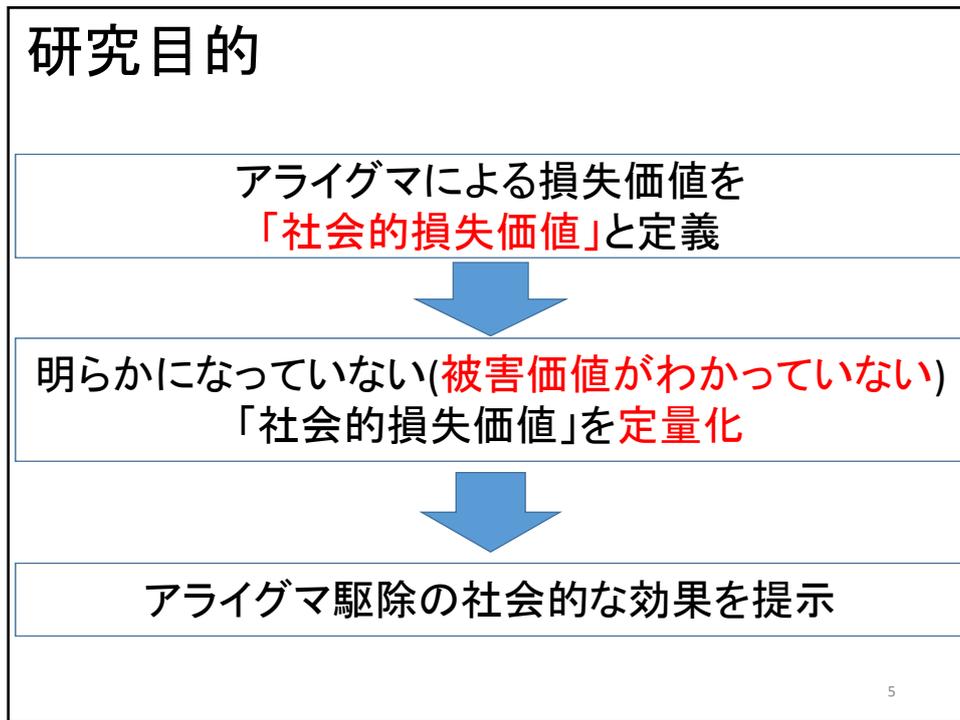
4712214 佐々木 翼

1



2





①調査概要

わかっていない価値を調査
(生態系被害、生活環境被害、感染症被害)

実施期間	2015年11月11日～11月13日
実施方法	ネットアンケート
調査地域	【道央圏】【道南圏】【道北圏】 【オホーツク圏】【十勝圏】【釧路・根室圏】
回収数	600サンプル(有効サンプル数:486サンプル)
調査項目	アライグマ駆除に対する賛否 アライグマ駆除に関する支払意志額 (多段階二項選択方式)(月額50円未満～3000円まで) 支払意志に影響がある項目への興味度合い (5段階評価)

・農業被害

スイカ、トウモロコシのほか家畜のニワトリや養殖魚が被害を受け、平成24年度では約3億3千万円(北海道:年間約8,500万円)にのぼる。



・生態系被害

絶滅の危機に瀕しているニホンザリガニや北海道固有種のエゾサンショウウオなどの捕食、エゾフクロウや絶滅危惧種であるシマフクロウの繁殖環境への影響懸念がある。



・生活環境被害

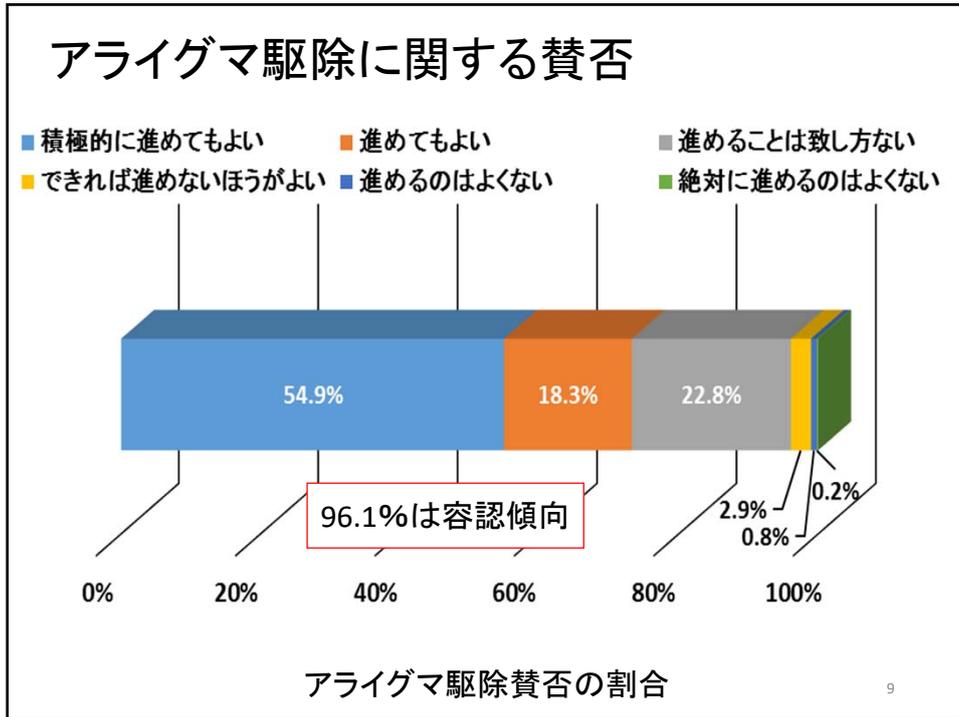
民家の屋根裏に住み着き、騒音や糞尿による汚染や人間やペットによる噛み付きなどの危害を及ぼす。



・感染症被害

発症した場合、100%死に至る狂犬病や脳炎または網膜炎を引き起こし、発育障害や視力障害の危険性があるアライグマ回虫の媒介生物となる。





② CVMによるアライグマ駆除に対するWTP分析

WTPの推計結果

項目	推計結果
分析サンプル数	486
パラメータa	7.35(1%有意)
パラメータ b	-1.46(1%有意)
1世帯あたり1ヶ月WTP(中央値)	153.3円

道内の年間社会的損失価値

各世帯WTP	道内世帯数	社会的損失価値
153.3[円/月/世帯]	2,738,172[世帯](2015.1)	5,038,053,504[円/年]

社会的損失価値: 約50.4[億円/年]
 (年間社会的損失価値=12ヶ月×各世帯WTP×道内世帯数)

**生態系被害、生活環境被害、感染症被害の
それぞれの損失価値はわからない**

③ WTPの分割方法の提示

Q3 必須 この負担金を支払うと考えた際に、以下に示す3つの価値（生態系保全、生活環境、感染症防止）について、それぞれの価値の割合を、合計で100になるように数値で評価してください。（半角数字でご記入ください）

※合計が100になるようにご記入ください。

生態系保全 %

生活環境 %

感染症防止 %



WTPに掛け合わせて、それぞれの金額を算出



年間の各損失価値

損失価値項目	割合	年間損失価値
生態系損失価値	42.8%	約21.5億円
生活環境損失価値	29.1%	約14.7億円
感染症損失価値	28.1%	約14.1億円

11

④ 相関分析によるアンケートの信頼性評価

項目	相関係数	有意 (**:1%,*:5%)
生態系保全	0.219	**
地球環境	0.192	**
外来生物	0.188	**
世帯年収	0.185	**
生物多様性	0.162	**
動物愛護	0.157	**
生活・住環境	0.116	*
キャンプ・アウトドア	0.093	*
自身の健康	0.059	
家族・親戚の健康	0.048	
ペットビジネス	0.027	
年齢	0.010	
性別	-0.067	

興味項目(順位)

1. 生態系項目
2. 生活環境項目
3. 感染症項目

損失価値項目(順位)

1. 生態系(約21.5億円)
2. 生活環境(約14.7億円)
3. 感染症(約14.1億円)

整合性が認められる



アンケートの信頼性が高い

12

